　作成者（　○○　〇〇　）

Ａ４道徳リードシート

記入例

■日時　　平成28年７月４日月曜日　第５校時

■学年　　第４学年１組　30名

内容項目に係るキーワード　　　　約束や社会のきまりの意義

本時の内容項目　　　　　Ｃ　規則の尊重

教材名（出典）

「雨のバス停留所で」

出典：「わたしたちの道徳　小学校三・四年」文部科学省

内容項目に係る児童生徒の実態

約束や社会のきまりの意義は理解していないが，守らないといけないという意識は高い児童が多い。

主題名　　　約束や社会のきまりを守って

本時のねらい

お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子の気持ちを考えることを通して，約束や社会のきまりの意義を理解し，それを守ろうとする態度を養う。

z

約束や社会のきまりは，

必ずしも守らないとい

けないものではない。

叱られるから，約束や社

会のきまりを守ること

は必要なんだ。

約束や社会のきまり

を守ることは，みんな

のために必要なんだ。

約束や社会のきまり

を守ることは，みんな

で気持ちよく過ごす

ために，必要なんだ。

◎中心発問または児童生徒に道徳的価値に対する考えをもたせるための発問

　　　　　◎お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子は，どんなことに気付いたので

しょう。

※ 本時における一面的な見方から多面的・多角的な見方へとつながる問い返しの発問例

■　① 解決策の理由（動機）を問う発問　 「どうしてそう思いましたか。」

□　② 将来の結果（因果関係）を問う発問 　　 「そうしたら，どうなると思いますか。」

□　③ 過去の経験を振り返り，将来の見通しを立てる発問　「自分も同じような経験はありませんか。」

■　④ 可逆性の原理を用いた発問 「自分がそうされてもよいですか。」

□　⑤ 普遍性の原理を用いた発問 「いつ，どこで，誰にでもそうしますか。」

■　⑥ 互恵性の原理を用いた発問 「それで皆が幸せになれますか。」

□　⑦ その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「～は，どんな気持ちでしょうか。」「～のしたことをどう思いますか。」

　※道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議（第２回）における岐阜大学大学院　柳沼良太准教授の配付資料より

考え,議論する道徳へのアプローチ



児童生徒の予想される多様な反応

約束やきまりとして決

まっていないことでも

みんなの気持ちを考え

て行動することは大切だ。

つ　な　が　り

問い返しの発問

明文化されていないのであれば，守らなくてもいいのではないのではないですか。

なぜ約束や社会のきまりを守ることは，みんなで気持ち良く過ごすことにつながるのですか。

どうしてそう思いますか。

叱られなかったら，約束や社会のきまりを守らなくてもよいのですか。

みんなが約束や社会のきまりを守らなかったら，どうなりますか。

問い返しの発問例

z

授業終了後に本時のねらいに迫った児童生徒の考え

約束や社会のきまりは，みんなで気持ちよく過ごすためにとても大切なものだから，守っていこうと思う。